



全国学力テスト 愛西市の調査結果は

原 裕司 議員

小中学校共に県平均を上回る

教育部長

小学校			
国語		算数	
1位	秋田県	1位	石川県
2位	石川県	2位	秋田県
2位	福井県	2位	東京都
47位	愛知県	33位	愛知県
		46位	宮崎県
			北海道

中学校					
国語		数学		英語	
1位	秋田県	1位	福井県	1位	東京都
2位	石川県	2位	石川県	1位	神奈川県
2位	福井県	2位	秋田県	1位	福井県
		2位	富山県	4位	石川県
				4位	静岡県
				4位	兵庫県
17位	愛知県	5位	愛知県	7位	愛知県

▲全国学力テスト調査結果

問 全国学力テストの調査結果が、都道府県別に発表された。本市における児童・生徒の結果は。

答 中学校では、愛知県が数学・英語において全国の上位となった。本市においては、小中学校共に県平均を上回った。

問 平均正答率の低い漢字については、正しく使うための、「読み方」「字形」「漢字のもつ意味」を考へることの習得が大切だ。

答 平均正答率の低い漢字については、正しく使うための、「読み方」「字形」「漢字のもつ意味」を考へることの習得が大切だ。

問 小学校に学力向上のため、教科担任制や乗り入れ授業等の考えは。

答 学年の一部の教科を教科担任制で行うことは可能だ。乗り入れ授業は、学級数や教員数、各学年の授業時間の違いがあり導入は困難だ。

成年後見制度の利用促進を

問 市民に研修を行って、知識を学んでもらい後見人になってもらう「市民後見人養成講座」を定期的に開催している自治体もある。本市でもこのような取り組みについて進めていく考えは。

答 「市民後見人養成講座」は県内10市町で実施している。後見人人口の裾野を広げるメリットもあるが、複雑な案件を任せられないというデメリットもある。近隣市の状況を見て研究していく。

問 成年後見制度の利用促進に欠かせない、後見人をサポートする相談窓口「中核機関」の設置が必要だ。市の見解は。

答 「中核機関」は、成年後見センター、または権利擁護センターを核として整備されている。本市においても、近隣市のセンター設置に向けての取り組み状況や、現状を見ながら検討していく。

その他の質問

●継続可能な介護保険制度を目指せ